

令和5年度補正果樹農業強靱化緊急対策花粉供給緊急対策事業報告書
【花粉の安定生産に向けた産地の取組支援】

都道府県名	福島県		
支援対象者名	福島さくら農業協同組合	代表者名	代表理事組合長 志賀博之
目標年度	令和6年度	事業実施年度	令和5年度
取り組む品目・品種	日本梨（幸水・豊水・涼豊・新高）		

1 成果目標の達成状況

<p>(1) 成果目標</p> <p>産地における花粉確保の体制構築、共同調製による花粉生産実証の取組内容及び結果を報告書として取りまとめ、令和6年11月末までにウェブサイトで公表する。</p>
<p>(2) 達成状況</p> <p>産地における花粉確保の体制構築、共同調製による花粉生産実証の取組内容及び結果を報告書として取りまとめ、令和6年11月末に当JAのウェブサイトで公表した。</p>

注 成果目標は事業実施計画書と同じものとする。

2 事業の取組状況

<p>(1) 花粉確保の体制構築</p> <p>検討会を実施 今年度の実績の検証、来年度の課題を整理して対策案を考案。</p>																																																
<p>(2) 花粉生産技術実証や公設試験研究機関等からの供給実証</p> <p>「なし及びりんごの生産に使用する花粉の確保に向けた技術指導について」 (令和5年12月8日3農産第3445号)を踏まえ、共同で開花期までの日本なしの剪定枝を施設等で加温し、開花を促進させることで、「新高」50aの受粉に必要な花粉を「新高」の開花前に確保するため、「豊水」の剪定枝を利用した花粉採取の実証に取り組んだ。「幸水」及び「豊水」の受粉に必要な粗花粉を合わせて12kg(23ha分、平成25年の利用実績(面積は令和5年も維持されている)より)を調製する必要があり、利用者の増加により開花所が混雑することが予想され、開花所を効率よく運営し、産地から得られた花粉の量及び用途</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>品種</th> <th>花粉の量(g)</th> <th>用途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本梨</td> <td>幸水</td> <td>6</td> <td>生産者に配布</td> </tr> <tr> <td>日本梨</td> <td>豊水</td> <td>61.3</td> <td>生産者に配布</td> </tr> <tr> <td>日本梨</td> <td>幸水</td> <td>2788.6</td> <td>生産者に配布</td> </tr> <tr> <td>日本梨</td> <td>豊水</td> <td>4978</td> <td>生産者に配布</td> </tr> <tr> <td>日本梨</td> <td>涼豊</td> <td>195.6</td> <td>生産者に配布</td> </tr> <tr> <td>日本梨</td> <td>新高</td> <td>49.4</td> <td>生産者に配布</td> </tr> <tr> <td>日本梨</td> <td>二十世紀</td> <td>1337.7</td> <td>生産者に配布</td> </tr> <tr> <td>日本梨</td> <td>新興</td> <td>25.4</td> <td>生産者に配布</td> </tr> <tr> <td>日本梨</td> <td>長十郎</td> <td>36.3</td> <td>生産者に配布</td> </tr> <tr> <td>日本梨</td> <td>あきづき</td> <td>12.6</td> <td>生産者に配布</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>9490.9</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	品目	品種	花粉の量(g)	用途	日本梨	幸水	6	生産者に配布	日本梨	豊水	61.3	生産者に配布	日本梨	幸水	2788.6	生産者に配布	日本梨	豊水	4978	生産者に配布	日本梨	涼豊	195.6	生産者に配布	日本梨	新高	49.4	生産者に配布	日本梨	二十世紀	1337.7	生産者に配布	日本梨	新興	25.4	生産者に配布	日本梨	長十郎	36.3	生産者に配布	日本梨	あきづき	12.6	生産者に配布			9490.9	
品目	品種	花粉の量(g)	用途																																													
日本梨	幸水	6	生産者に配布																																													
日本梨	豊水	61.3	生産者に配布																																													
日本梨	幸水	2788.6	生産者に配布																																													
日本梨	豊水	4978	生産者に配布																																													
日本梨	涼豊	195.6	生産者に配布																																													
日本梨	新高	49.4	生産者に配布																																													
日本梨	二十世紀	1337.7	生産者に配布																																													
日本梨	新興	25.4	生産者に配布																																													
日本梨	長十郎	36.3	生産者に配布																																													
日本梨	あきづき	12.6	生産者に配布																																													
		9490.9																																														

注 得られた花粉の量及び用途については、品目・品種ごとに記載すること。

3 取組の総評

<p>今回、加温施設での剪定枝を利用した、早期開花・花粉採取実証については計画が250gのところ67.3g(26%)となった。共同調整については12kgの目標に対して9.4kg(78%)得られた。</p>
--

4 今後の課題

<p>加温施設での剪定枝を利用した、早期開花・花粉採取実証については花粉の採取間隔が二日から三日に一度と広いことと実証で使用した枝が充実していなかったなどの課題がある。また、共同調整については従業員の配置、葯の荷受け時間の変更による開花時間の増加による従業員の労務時間の増大。</p>
--